

## 第一回 びわ湖東北部地域における高等教育のグランドデザインに関する検討会 報告

今後のびわ湖東北部地域の高等教育を発展させることを目的に、びわ湖東北部地域連携協議会に加盟する連携機関の担当者をメンバーとする検討会を実施した。第一回の検討会は以下の内容で実施し、びわ湖東北部地域の高等教育の現状と課題についての意見交換・検討を行った。

### 1. びわ湖東北部地域における高等教育のグランドデザインに関する検討会実施概要

日時：2021年10月22日（金）13：30～14：30

形式：対面とZoomによるオンライン配信のハイブリッド形式

参加者

協議会長：蔡 晃植

座長：重岡 成

滋賀県立虎姫高等学校：梅本 剛雄

教育機関：15名

自治体等：4名

計：22名

実施内容：

○びわ湖東北部地域連携協議会長 挨拶

○実例紹介「滋賀県立虎姫高等学校の現状と課題について

～人口減少地域における県立高校の魅力ある学校づくり～

講師：梅本 剛雄 様（滋賀県立虎姫高校 校長）

○びわ湖東北部地域における高等教育のグランドデザインに関する検討

### 2. 実例紹介に基づいた意見交換・検討会

滋賀県立虎姫高等学校で取り組まれているSSH（スーパーサイエンスハイスクール）、国際バカロレア等を通じての滋賀県内の国公立大学との連携、地域資源を活用した教育についての実例紹介をしていただいた後、実例紹介を参考にしながら具体的な地域での高等教育の現状等についての意見交換・検討を行った。

#### ① 地域内の高等教育の現状・課題認識

- ・高等教育のグランドデザインとは、地域の高校が満足度上がるように地域が協力してやっていくことではないか？それがゆくゆくは地域の発展人口増加につながっていくのであれば、高校の満足度を上げていくことがこの地域での高等教育のグランドデザインをやっていくことということになる。
- ・現在の高校への進学状況では、特徴のある総合学科が人気になり、工業高校や農業高校も一時期より募集が復調している傾向にある。そういった中で普通科の高等学校が苦戦している。

- ・普通科の高等学校への進学となると、生徒は偏差値等で判断する現状があることから、より魅力ある教育に取り組む必要がある。
- ・現状を踏まえると高等学校では、生徒のニーズに合わせたような教育の質を上げていく必要があるのではないかと考えている。
- ・大学も偏差値以外で選ばれる大学になるには、入学後にどれだけ自分が成長できたか、それを実感できたかということが重要になってくると考えられる。
- ・自宅から通う学生も多いが、地域にある企業を知らないまま県外に出て行ってしまう。

## ② 地域内の高等教育の充実に向けた各大学の取組

- ・自分で自分を評価できる環境の整備
- ・従来の学力のみを評価する入試から脱却し、文章を書かせることで論理的な思考があるかどうかを重要視する入試の積極導入
- ・学生の活動や大学の共同研究などの積極的な広報
- ・地域の課題に取り組む学生が卒業後に地域で貢献・活動をする機会の提供
- ・地域の方が講義に参加する機会の提供

## ③ 高等教育の充実に必要なこと

- ・地域内の大学に進学してもらうには、生徒に大学のことを知ってもらう必要があるため、大学の情報発信が大事になる。
- ・地域の企業も含めて生徒にアピールを行うには、小中高の連携が大事になってくるのではないかな。
- ・大学の魅力発信のためにも、その大学で何がしたいかを発見できるようにアピールする必要がある。
- ・中長期的な視野でびわ湖東北部地域の将来像を共通認識し、夢を持ち広い視野で将来を見られる子どもたちを育てられる環境づくりが求められる。
- ・卒業後も若者に地域に残ってもらうためには、高校・大学生が地域に関わってもらうことが必要である。
- ・地域内への進学を高めることを目指すためには、教育の分野だけではなく産官学が協力し魅力あふれるびわ湖東北部地域にする必要がある。

上記のような意見を受けて、地域の高等教育のグランドデザインを明確にしていくためには、びわ湖東北部地域における高等教育の現状と課題を共有し、産官学をはじめとした地域全体が連携して取り組むことが重要であるとの意見一致がされ、今後も検討会を継続していくこととなった。

以上